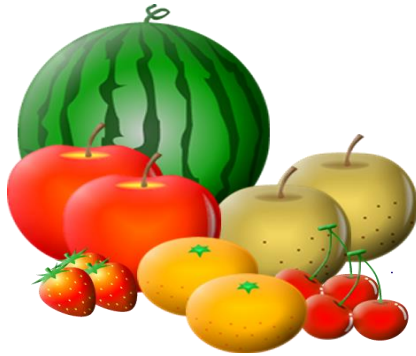


現在、起きている問題をイメージ図にしてみた

姉妹4人宛てに、親類から果物が送られてきたので、東子が中心になり下記の図のように配分したが、分け方で異論が出た。一部の意見では、先ず4等分した上で、日ごろのお礼をしたいというものだった。しかし、東子が、そもそも全体で、どの果物が幾らあったのか、何時までたっても出さないの、一切話合いが進まず膠着状態になってしまった。何故なら、どんな果物が幾らあるのか分からず、分け方(=遺産分割)の検討すら出来ないの、困っていた。



東子



西子



南子



北子

偶さか、帰宅した母親(第三者)が解決案を提示した

母親の全子さんは、姉妹4人の話を聞いた上で、東子に果物の種類ごとに、個数を出させた上で、最初は4等分させ、あとは、少しずつ微調整してはどうかと、提案したので、全員納得・分割し、夫々喜んで部屋に持ち帰った。

